

2025 年度

3 学年（第 56 期生）シラバス

秋田県歯科医療専門学校
歯科衛生士科

科目名	歯科予防処置Ⅲ	
担当講師	専任教員 吉田 律子・石塚 美波子・山口 柳子	
授業時間	単位数	履修時期
45 時間	2 単位	3 学年 前後期
8 時間		国家試験対策補習講義
教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 医歯薬出版 歯科衛生士のための齲蝕予防処置法 第2版	
参考書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 口腔保健管理	
一般目標 GIO	歯科衛生士法を基に口腔の予防処置に関する知識技術を習得する。	
行動目標 SBOs	・ 偶発事故の予防とその対策を理解する。 ・ 歯周病治療の変遷について理解する。 ・ 集団応用について理解する。	
評価 EV	定期試験 100%	

担当講師より： 3年間の総まとめです。

1、2年生の復習もしっかりしましょう。

時間	担当者	講義・実習項目
1	吉田	講義・演習 実習 偶発事故とその予防対策①(齲蝕予防)
2	吉田	講義・演習 実習 偶発事故とその予防対策②(齲蝕予防)
3	石塚	講義・演習 実習 偶発事故とその予防対策①(歯周病予防)
4	石塚	講義・演習 実習 偶発事故とその予防対策②(歯周病予防)
5	石塚	講義・演習 実習 歯周病治療の変遷①
6	石塚	講義・演習 実習 歯周病治療の変遷②
7	吉田	講義・演習 実習 集団応用について①(齲蝕予防)
8	吉田	講義・演習 実習 集団応用について②(齲蝕予防)
9	石塚	講義・演習 実習 集団応用について①(歯周病予防)
10	石塚	講義・演習 実習 集団応用について②(歯周病予防)

科目名 歯科予防処置Ⅲ

時間	担当者	講義・実習項目
11	石塚 講義・演習 実習	総まとめ①
12	石塚 講義・演習 実習	総まとめ②
13	石塚 講義・演習 実習	総まとめ③
14	石塚 講義・演習 実習	総まとめ④
15	石塚 講義・演習 実習	総まとめ⑤
16	吉田 講義・演習 実習	偶発事故の予防と対策 (GW) ①(齲蝕予防)
17	吉田 講義・演習 実習	偶発事故の予防と対策 (GW) ②(齲蝕予防)
18	石塚 講義・演習 実習	偶発事故の予防と対策 (GW) ①(歯周病予防)
19	石塚 講義・演習 実習	偶発事故の予防と対策 (GW) ②(歯周病予防)
20	石塚 講義・演習 実習	偶発事故の予防と対策 (GW) ③(歯周病予防)
21	石塚 講義・演習 実習	偶発事故の予防と対策 (GW) ④(歯周病予防)
22	吉田 講義・演習 実習	集団応用計画表の作成①(齲蝕予防)
23	吉田 講義・演習 実習	集団応用計画表の作成②(齲蝕予防)
24	吉田 講義・演習 実習	集団応用計画表の作成③(齲蝕予防)
25	吉田 講義・演習 実習	集団応用計画表の作成④(齲蝕予防)
26	石塚 講義・演習 実習	集団応用計画表の作成①(歯周病予防)
27	石塚 講義・演習 実習	集団応用計画表の作成②(歯周病予防)
28	石塚 講義・演習 実習	集団応用計画表の作成③(歯周病予防)
29	石塚 講義・演習 実習	集団応用計画表の作成④(歯周病予防)
30	吉田 石塚 山口 講義・演習 実習	歯科予防処置実習まとめ①

時間	担当者	講義・実習項目
31	吉田 石塚 山口	講義・演習 実習 歯科予防処置実習まとめ②
32	吉田 石塚 山口	講義・演習 実習 歯科予防処置実習まとめ③
33	吉田 石塚 山口	講義・演習 実習 歯科予防処置実習まとめ④
34	吉田 石塚 山口	講義・演習 実習 歯科予防処置実習まとめ⑤
35	吉田 石塚 山口	講義・演習 実習 歯科予防処置実習まとめ⑥
36	吉田 石塚 山口	講義・演習 実習 歯科予防処置実習まとめ⑦
37	吉田 石塚 山口	講義・演習 実習 歯科予防処置実習まとめ⑧
38	吉田 石塚 山口	講義・演習 実習 歯科予防処置実習まとめ⑨
39	吉田 石塚 山口	講義・演習 実習 歯科予防処置実習まとめ⑩
40	吉田 石塚 山口	講義・演習 実習 歯科予防処置実習まとめ⑪
41	吉田 石塚 山口	講義・演習 実習 歯科予防処置実習まとめ⑫
42	吉田 石塚 山口	講義・演習 実習 歯科予防処置実習まとめ⑬
43	吉田 石塚 山口	講義・演習 実習 歯科予防処置実習まとめ⑭
44	吉田 石塚 山口	講義・演習 実習 歯科予防処置実習まとめ⑮
45	吉田 石塚 山口	講義・演習 実習 授業評価

科目名	歯科保健指導Ⅲ		
担当講師	専任教員 金山 奈穂美		
授業時間	単位数	履修時期	
15 時間	1 単位	3 学年 前後 期	
時間		国家試験対策補習講義	
教科書	医歯薬出版 歯科予防処置論・歯科保健指導論 学建書院 改訂 歯ブラシ事典 学建書院 オーラルヘルスケア事典 学校歯科保健参考資料文部科学省「生きる力」をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり クインテッセンス出版 別冊歯科衛生士 ブラークコントロールのためのホームケア指導		
参考書	医歯薬出版 ポイントチェック 歯科衛生士国家試験対策②・⑤		
一般目標 GIO	◎個人、小集団指導の要点を理解し、媒体の活用法を習得する。 ◎ライフステージや口腔状態に合わせた歯科保健指導を行うための基本的な知識や技術、態度を修得する。		
行動目標 SBOs	・小集団指導の流れを知り、対象に合った媒体を選択できる。 ・個人指導用媒体を作製できる。 ・業務記録の意義を知る。 ・災害と歯科保健の関係性を知る。		
評価 EV	定期試験 100%		

担当講師より：歯科保健指導は他の科目と関連の深い教科です。
 これまで学習したことを振り返りながら楽しく学びましょう。

時間	担当者	講義・実習項目	
1	金山	講義・演習 実習	個人指導用媒体作製
2	金山	講義・演習 実習	〃
3	金山	講義・演習 実習	〃
4	金山	講義・演習 実習	〃
5	金山	講義・演習 実習	〃
6	金山	講義・演習 実習	〃
7	金山	講義・演習 実習	ライフステージに応じた指導
8	金山	講義・演習 実習	〃
9	金山	講義・演習 実習	〃
10	金山	講義・演習 実習	〃
11	金山	講義・演習 実習	〃
12	金山	講義・演習 実習	〃
13	金山	講義・演習 実習	〃
14	金山	講義・演習 実習	業務記録の意義
15	金山	講義・演習 実習	災害と歯科保健

科目名	訪問歯科指導		
担当講師	田中尚樹		石田貴洋
授業時間	単位数	履修時期	
30 時間	1 単位	3 学年後期	
4 時間		国家試験対策補習講義	
教科書	医歯薬出版 超高齢社会のための専門的口腔ケア 要介護・有病者・周術期・認知症への対応		
参考書			
一般目標 GIO	医院での診察と訪問での診察の違いを理解し、介護が必要である理由に対応した臨床技術を学ぶ		
行動目標 SBOs	○介護認定が必要となる疾病・障害の説明ができる。 ○摂食・嚥下のメカニズムが説明できる。 ○口腔ケアの訪問診療での特殊性を理解し、指導できる。		
評価 EV	定期試験100%		

担当講師より： 受講態度、出席状況も評価する

前半部分では、総合的な歯科治療の復習と、訪問での違いを学んでほしい。

時間	担当者	講義・演習・実習項目	
1	田中	講義・演習 実習	現代における社会環境での訪問介護の重要性
2	田中	講義・演習 実習	現代における社会環境での訪問介護の重要性
3	田中	講義・演習 実習	現代における社会環境での訪問介護の重要性
4	田中	講義・演習 実習	歯科介護をとりまく社会制度の整備
5	田中	講義・演習 実習	歯科介護をとりまく社会制度の整備
6	田中	講義・演習 実習	訪問歯科での衛生士の重要性
7	田中	講義・演習 実習	歯科解剖学と訪問介護
8	田中	講義・演習 実習	生理学と訪問介護
9	田中	講義・演習 実習	微生物学と訪問介護
10	田中	講義・演習 実習	老化とは

科目名 訪問歯科指導

時間	担当者	講義・演習・実習項目	
11	田中	講義・演習 実習	高齢者である事からくる障害とその医療
12	田中	講義・演習 実習	高齢者の介護において行政や地域社会のできる事
13	田中	講義・演習 実習	高齢者の特徴とそれに供なう問題
14	田中	講義・演習 実習	摂食・嚥下障害とは
15	田中	講義・演習 実習	摂食・嚥下障害に対する処置

教科書	医歯薬出版 超高齢社会のための専門的口腔ケア 要介護・有病者・周術期・認知症への対応
参考書	
一般目標 GIO	医院での診察と訪問での診察の違いを理解し、介護が必要である理由に対応した臨床技術を学ぶ
行動目標 SBOs	◦介護認定が必要となる疾病・障害の説明ができる。 ◦摂食・嚥下のメカニズムが説明できる。 ◦口腔ケアの訪問診療での特殊性を理解し、指導できる。
評価 EV	定期試験 100%

担当講師より： 受講態度、出席状況も評価する

後半部分では、訪問診療の実際と注意点、リスクマネジメントについて学んでほしいです。

時間	担当者	講義・演習・実習項目	
1	石田	講義・演習 実習	歯科介護の実際
2	石田	講義・演習 実習	〃
3	石田	講義・演習 実習	リハビリテーション
4	石田	講義・演習 実習	〃
5	石田	講義・演習 実習	〃

時間	担当者	講義・演習・実習項目	
6	石田	講義・演習 実習	歯科介護の位置づけ
7	石田	講義・演習 実習	介護の基本と実際
8	石田	講義・演習 実習	〃
9	石田	講義・演習 実習	介護の実践
10	石田	講義・演習 実習	〃
11	石田	講義・演習 実習	歯科介護に役立つ器材
12	石田	講義・演習 実習	〃
13	石田	講義・演習 実習	まとめ 1
14	石田	講義・演習 実習	まとめ 2
15	石田	講義・演習 実習	まとめ 3

科目名	歯科診療補助Ⅲ		
担当講師	専任教員 菊地広美・志村舞・菅原由紀子・山口柳子		
授業時間	単位数	履修時期	
30 時間	1 単位	3 学年前後期	
6 時間		国家試験対策補習講義	
教科書	医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 歯科材料 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 歯科機器		
参考書	医歯薬出版 新人歯科衛生士・歯科助手 ポケットマニュアル第2版		
一般目標 GIO	歯科医療の現場における共同動作ができるために、各診療の流れに沿った使用器材の準備と取り扱いができるように、より実践的な技術を習得する。		
行動目標 SBOs	・ 歯科衛生士の業務について、技能に関する事項について理解する。 ・ 歯科診療における共同動作、術式、患者への対応及び材料、薬品、器具の取り扱いについて理解する。		
評価 EV	定期試験 100%		

担当講師より：

回数	担当者	講義・実習項目	
1	菊地志村 菅原山口	講義・演習 実習	歯冠修復(Ⅱ級窩洞)
2	菊地志村 菅原山口	講義・演習 実習	歯冠修復(Ⅱ級窩洞)
3	菊地志村 菅原山口	講義・演習 実習	歯冠修復(Ⅱ級窩洞)
4	菊地志村 菅原山口	講義・演習 実習	歯冠修復(Ⅱ級窩洞)
5	菊地志村 菅原山口	講義・演習 実習	歯冠修復(Ⅱ級窩洞)
6	菊地志村 菅原山口	講義・演習 実習	歯冠修復(Ⅱ級窩洞)
7	菊地志村 菅原山口	講義・演習 実習	精密印象採得および介補①
8	菊地志村 菅原山口	講義・演習 実習	精密印象採得および介補①
9	菊地志村 菅原山口	講義・演習 実習	精密印象採得および介補②
10	菊地志村 菅原山口	講義・演習 実習	精密印象採得および介補②

回数	担当者	講義・実習項目
11	菊地志村 菅原山口	講義・演習 実習 精密印象採得および介補③
12	菊地志村 菅原山口	講義・演習 実習 精密印象採得および介補③
13	菊地志村 菅原山口	講義・演習 実習 ラバーダム防湿
14	菊地志村 菅原山口	講義・演習 実習 ラバーダム防湿
15	菊地志村 菅原山口	講義・演習 実習 ラバーダム防湿
16	菊地志村 菅原山口	講義・演習 実習 ラバーダム防湿
17	菊地志村 菅原山口	講義・演習 実習 暫間被覆冠
18	菊地志村 菅原山口	講義・演習 実習 暫間被覆冠
19	菊地志村 菅原山口	講義・演習 実習 暫間被覆冠
20	菊地志村 菅原山口	講義・演習 実習 暫間被覆冠
21	菊地志村 菅原山口	講義・演習 実習 暫間被覆冠
22	菊地志村 菅原山口	講義・演習 実習 暫間被覆冠
23	菊地志村 菅原山口	講義・演習 実習 歯科診療の流れに沿った補助の実際
24	菊地志村 菅原山口	講義・演習 実習 歯科診療の流れに沿った補助の実際
25	菊地志村 菅原山口	講義・演習 実習 歯科診療の流れに沿った補助の実際
26	菊地志村 菅原山口	講義・演習 実習 歯科診療の流れに沿った補助の実際
27	菊地志村 菅原山口	講義・演習 実習 歯科診療の流れに沿った補助の実際
28	菊地志村 菅原山口	講義・演習 実習 歯科診療の流れに沿った補助の実際
29	菊地志村 菅原山口	講義・演習 実習 歯科診療の流れに沿った補助の実際
30	菊地志村 菅原山口	講義・演習 実習 就業にあたっての心構え

科目名	卒業研究Ⅱ		
担当講師		細川 卓朗	
授業時間		単位数	履修時期
15 時間		1 単位	3 学年後期
時間			国家試験対策補習講義
教科書			
参考書	歯科衛生研究の進め方・論文の書き方 わかりやすい 歯科衛生士学生のための卒業研究ガイドブック		
一般目標 GIO	歯科衛生士として、科学的に分析する姿勢を学ぶ。		
行動目標 SBOs	・論文作成に必要なデータ収集ができる。 ・データを分析できる。 ・データを基に、論文ができる。 ・作成した論文を発表・討論できる。		
評価 EV	出席率 50%	提出論文・発表	50%

担当講師より：

論文作成により衛生士として物の見方、考え方を身につけてもらいたい。
グループで行うのでチームプレーの大切さを知ってもらいたい。

時間	担当者	講義・演習・実習項目	
1	細川	講義・演習 実習	データのまとめ、論文作成
2	細川	講義・演習 実習	
3	細川	講義・演習 実習	
4	細川	講義・演習 実習	
5	細川	講義・演習 実習	
6	細川	講義・演習 実習	
7	細川	講義・演習 実習	
8	細川	講義・演習 実習	
9	細川	講義・演習 実習	
10	細川	講義・演習 実習	卒論発表会の前準備①

時間	担当者	講義・演習・実習項目	
11	細川	講義・演習 実習	卒論発表会の前準備②
12	細川	講義・演習 実習	卒論発表会①
13	細川	講義・演習 実習	卒論発表会②
14	細川	講義・演習 実習	卒論発表会③
15	細川	講義・演習 実習	総括・総表 2年間のまとめ

科目名	臨地・臨床実習Ⅱ	
実施施設	県内歯科医院 27施設 大学病院歯科口腔外科 保育所・園 3施設	
授業時間	単位数	履修時期
540時間	12単位	3学年 前期
時間		国家試験対策補習講義
教科書	特になし	
参考書	特になし	
評価 EV	実習状況100%	

講義・実習項目		
1.実習期間		
(1) 県内歯科医院	臨床実習Ⅱ	4月～5月中旬
	臨床実習Ⅲ	5月中旬～7月
	臨床実習Ⅳ	8月～9月
(2) 大学病院歯科口腔外科		4月～9月
(3) 保育所・園		6月～7月
2.実習の目的		
歯科衛生士の業務である歯科予防処置、歯科診療補助、歯科保健指導の手技を習得し、歯科診療所(病院)における歯科衛生士の役割を理解する。 保育所・園では幼児に対する適切な歯科保健指導を実施出来るように、年齢毎の口腔内の特徴を理解しコミュニケーション、歯科保健指導の方法を習得する。		
3.内容及び項目《臨床実習Ⅰ～Ⅳの期間にて》		
(1) 歯科予防処置		
①予防的歯石除去法(歯面研磨含む)	15名以上(90ケース以上)	
	内10名以上(60ケース)は歯石除去	
②齲蝕予防処置法	15名以上	
(2) 歯科保健指導	20名以上(内小児8名以上)	
小児:15歳以下(中学3年生)		
①歯口清掃指導		
②食生活指導		
③歯科衛生教育・・・学校健診、保育所等での歯磨き指導(紙芝居等)等		
④その他・・・歯冠修復及び補綴物、矯正装置等の装着後の指導、外科手術後の指導		
※ 歯石除去、フッ化物塗布後の患者指導は歯科予防処置の一環とする。		
(3) 歯科診療補助		
①バキューム操作		
②印象材の練和		
③セメントの練和		
④スタディモデルの作製	4例以上	
⑤レントゲンフィルムの位置づけ、現像	20例(20名)以上	
⑥歯周組織検査(プロービング、BOP、動揺度、PCR)	10名以上	
⑦保存修復・歯内療法診療補助		
⑧歯周療法の診療補助		
⑨歯科補綴治療の診療補助		
⑩口腔外科処置の診療補助		
⑪歯科矯正治療の診療補助		
⑫小児歯科治療の診療補助		

